



# 2020年卒業 内定者に関する調査報告

学術研究院（学士課程基盤教育機構）

山本 美奈子

松坂 暢浩

# 調査の概要

---

## 1. 対象者全体の内定状況

1-1 基本属性

1-2 内定先と都道府県別進路状況

## 2. 就職活動の状況

2-1 就職活動中に参考になった情報源

2-2 就職活動中によく相談した人

2-3 就職活動中で困ったこと

2-4 就職活動中に知りたかったこと

2-5 就職活動中の活動量

2-6 就職活動の終了時期

2-7 内定承諾の理由

2-8 内定辞退の理由

2-9 内定先を決める際の「決め手」

## 3. 大学の就職支援に対する評価 (全体、各キャンパス)

## 4. 調査のまとめ



# 1-1 基本属性 (n=168)

## 2020年1月～2月に3キャンパスの内定者を対象 平均年齢22.7歳

性別	回答者数	割合 (%)
男	92	54.8%
女	76	45.2%
合計	168	100%

出身高校所在地別	回答者数	割合 (%)
山形県	33	19.6%
宮城県	42	25.0%
福島県	13	7.7%
岩手県	7	4.2%
秋田県	5	3.0%
青森県	3	1.8%
その他地方	55	32.7%
大都市圏	10	6.0%
合計	168	100.0%

文理別	回答者数	割合 (%)
文系学部(養護教諭含む)	60	35.7%
理系学部	69	41.1%
文系大学院	2	1.2%
理系大学院	37	22.0%
合計	168	100.0%

山形県内の就職を検討	回答者数	割合 (%)
検討していた	58	34.5%
検討していない	110	65.5%
合計	168	100.0%

・ **34.5%が山形県での就職を検討**

## 1-2 内定先と都道府県別進路状況 (n=168)

- 民間企業の就職は73.8%、公務員は19.6%
- 山形県の内定者は15.5%
- 南3県（宮城、山形、福島）の内定者は35.2%

内定先(本社)所在地	回答者数	割合 (%)
宮城県	28	16.7%
山形県	26	15.5%
福島県	5	3.0%
岩手県	2	1.2%
秋田県	2	1.2%
青森県	1	0.6%
その他地方	32	19.0%
大都市圏	72	42.9%
合計	168	100.0%

内定先(本社)所在地	民間企業 (%)		公務員 (%)		学校教員 (%)		合計 (%)	
山形県	15	8.9%	6	3.6%	5	3.0%	26	15.5%
宮城県	20	11.9%	8	4.8%	0	0.0%	28	16.7%
福島県	2	1.2%	2	1.2%	1	0.6%	5	3.0%
秋田県	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%
青森県	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.6%
岩手	1	0.6%	0	0.0%	1	0.6%	2	1.2%
その他の地方	20	11.9%	9	5.4%	3	1.8%	32	19.0%
大都市圏	64	38.1%	7	4.2%	1	0.6%	72	42.9%
合計	124	73.8%	33	19.6%	11	6.5%	168	100.0%

## 2-1 就職活動中に参考になった情報源（複数回答）

5

情報源	回答者数	割合 (%)
就職情報サイト（リクナビ、マイナビなど）	108	18.6%
学内の合同企業説明会	79	13.6%
学内で開催された企業・自治体などの個別説明会	57	9.8%
学外で開催された企業・自治体などの個別説明会	49	8.4%
学外の合同企業説明会	44	7.6%
先輩	44	7.6%
大学のキャリアセンター・サービスセンター・就職情報室での個別相談や主催する就職セミナーなど	33	5.7%
同級生	31	5.3%
OBOG	23	4.0%
ゼミや研究室の教員	22	3.8%
大学の求人検索ナビ	19	3.3%
家族（親、祖父母、親せきなど）	19	3.3%
自治体の情報（地元就職に関する情報など）	17	2.9%
その他	12	2.1%
学部・学科が主催するセミナーやイベント	11	1.9%
ハローワーク（新卒応援ハローワーク）	9	1.5%
特に役立った情報源はない	4	0.7%
合計	581	100.0%

### 168名中581個の記載

上位は、

- ・リクナビやマイナビの情報サイト
- ・学内の合同説明会や個別説明会

が占めていた

## 2-2 就職活動中によく相談した人（複数回答）

### 相談した人は、同級生や先輩、母親など身近な人が多い

相談者(外部)	回答者数	割合 (%)
同級生	69	30.0%
先輩	42	18.3%
大学のキャリアセンター等の職員	35	15.2%
その他	25	10.9%
ゼミや研究室の教員	24	10.4%
大学のキャリアセンター等の教員	16	7.0%
OBOG	13	5.7%
ハローワーク（新卒応援ハローワーク）の相談員	6	2.6%
合計	230	100.0%

相談者(身内)	回答者数	割合 (%)
母親	42	54.5%
父親	33	42.9%
祖父母	1	1.3%
親戚	1	1.3%
合計	77	100.0%

その他（自由記述）
相談していない
企業のリクルーターの方
アナウンススクールの講師
インターンで出会った人たち
学外の友人
教採講座の生協職員
公務員予備校の講師
就職エージェント
生協主催の教員採用試験対策講座担当者
友人、高校時代の先生

その他のうち8人が、「相談していない」と記載。

## 困りごとは、就職活動の費用に関する回答が多く、就職活動費用の平均は約20万

就職活動を振り返り、活動中に「困ったこと」(自由記述の一部抜粋)
車がないと面接地に行けなかつたこと山形大学では就職希望地(長野県)の企業についての資料などがほとんどなかったこと
特別区は区面接まで受験した先輩が少なく、情報が全くなかったこと。
気軽に相談に乗ってくれる人がいない(少ない)
やりたいことが大体決まっていたからこそ、就職活動をする範囲を狭めてしまい、ふと自分のやりたいことに悩んだときにその道しか選択肢がなくなってしまうこと。
自分のやりたいことがなかったことから、その会社で成し遂げたいこともなかった。大学生活で自分のキャリア、自分自身について触れていこうという意識が欠けていたために迷子になった。
山形のOBOGに就職課を通じて繋げてもらえなかったこと。他大学と比較して不利だと感じた。
金銭管理、進め方が分からない、親とのコミュニケーション
学科推薦を利用し、選考を受けていた企業の選考が遅過ぎて、就職活動の邪魔だった。
入学する前から「絶対に教員」と決めていたので、それ以外の道を考えたことがなかった。しかし、教授に向けての勉強の途中で本当にこれがベストだったのか、もっと他の可能性についてもよく考えるべきではなかったのか等悩みが尽きなかった。
面接日が他の企業やゼミと被ったこと。
今までで一番大変だったことは?という問いかけに答えるのに苦労した。自分では、大変だった経験が思いつかなかったから。友人や母に私が大変そうだった時のことを聞いて、なんとか答えを用意した。
新潟県は就活する時にUターン補助金があるが、公務員志望には適用されないこと。遠方から説明会に行かないといけなのに、ブーツを履くとマナー違反とかキャリーバッグを持っていくとマナー違反とか、インターネットに書いてあって、それは遠方から就活してる人に対して明らかに不公平で理不尽だと思うこと。
企業への電話のかけ方
山形から東京、大阪に出ようとしたら交通費だけでも数十万円無くなった。
2社から内定をもらったこと。
リフレッシュする場所がなかなかなかったこと。
公務員から民間に切り替える時に、どのような選択をとることができるのか、またそうした情報の取捨選択が分からず混乱した。
情報を自分で全て集めないといけないのが辛い。自己責任で全て片付けるのでは就活に病む人がいるのも当たり前だと感じた。実際友人も未だ連絡が取れない人がいる。また公務員試験に落ちた時、民間就活をどうすればいいのか分からず絶望したので公務員目指してる方も民間就活した方がいいと思う。

## 2-4 就職活動中に知りたかったこと(自由記述)

活動中に「もっと知りたかったこと」(自由記述の一部抜粋①)	活動中に「もっと知りたかったこと」(自由記述の一部抜粋②)
社会のしくみについて	民間就活の仕方を授業でやってほしい。様々なルールやテクニックがあるのでそれを場数を踏むことで覚えていくのは効率が悪いと感じた。あと、面接スキルなど自分で磨くのが厳しい面をサポートしてくれる体制をもっと増やすべき。
早いうちにエントリーシートの具体的な書き方を知りたかった。	テレビ局を受けた先輩の話をもっと知りたかった
会社についてより業界についてもっと知りたかった業界の中の会社間の差異とか住み分けとか	地元就職の魅力。
面接練習できるところとか企業、公務員なら地方別の面接内容	東京周辺で安い宿やホテル等をまとめた情報があれば助かった。
自分について	OBの連絡先、選考情報
模擬授業のやり方	リクルートスーツのレンタルを行う団体(企業?)があること。
学外以外の合同企業説明会の情報をもっと知りたかった。	3月からでは遅いということ
面接のやり方や自己PRより、「自分の知り方」「自分とは」をもっと知りたかった。	大手企業の情報だけでなく、ベンチャー企業の情報
健康診断をするべき時期	集団説明会と個別説明会の違い
業界研究や企業研究のやり方をもっと知りたかった。	また、東京や仙台で就活する人もいると思うので、そうした遠方での就活に役立つ情報(就活シェアハウス、格安就活生用の宿泊施設、就活カフェなど)の情報をもっと知らせてもいいのではないのでしょうか。そういったサービスを活用して、都市部の就活生と交流したのですが、首都圏や都市圏の学生に比べてあまりにも情報格差がありすぎるとひしひしと感じました。
専門職の企業の情報	自治体の傾向
四季報などに載っていない企業の情報	職種について調べる時参考にできるサイトや雑誌
県外の有力企業	優良企業ランキングなど
就職活動おわってからの採用先の企業とのやりとり	公務員の主な併願先について
東北圏外の企業の情報	推薦を使えば確実に内定をもらうことができる事。インターンシップは大企業の意義あるもの以外は会社見学に過ぎなかった事。
自分に合う企業の探した方	SPIの対策方法
各社の推薦等の応募手順	オワハラをうまく切り抜け内定をもらいつつ他の会社からも内定をもらう方法
就職先に残業があるかどうか(説明会でほぼ嘘をつかれた)、財政難だとか不利益な情報を入れてから言われ責任を押し付けるような言い方をされたこと。説明会で隠されすぎている	都会の人がどれほど頑張っていたか
公務員のインターンシップなどを2年生のうちに見てみたかった	工場見学など実際働く場を見たり、人事さんのいない場所で働いている人に質問がしたかった
社会人の働き方や1日の過ごし方	どの学科が、どの分野の企業に好まれるか
インターンシップや説明会開催の日程(公務員関係)	電力や鉄道以外の、様々なインフラ系や自動車メーカーについてもっと知りたかった。
東京電力の情報。インターンには落選していたので情報を得られなかった。	全国各地の求人情報
同じ就活生の気持ちや考え。	もう少し就職活動について先輩に聞いておけばよかったなと思います
就職先の企業に満足しているためありません。	地元、東京などに安く行ける方法Uターン就職に関する情報
公務員試験受験者向けの就活講座	



# 2-5 就職活動中の活動量 (n=168)



エントリー数	回答者数	割合 (%)
1 ~ 10	84	50.0%
11 ~ 20	36	21.4%
21 ~ 30	22	13.1%
31 ~ 40	12	7.1%
41 ~ 50	7	4.2%
51 以上	1	0.6%
0	6	3.6%
合計	168	100%

参加数	回答者数	割合 (%)
1 ~ 10	120	71.4%
11 ~ 20	35	20.8%
21 ~ 30	11	6.5%
31 ~ 40	1	0.6%
41 ~ 50	1	0.6%
合計	168	100%

応募提出数	回答者数	割合 (%)
1 ~ 10	125	74.4%
11 ~ 20	35	20.8%
21 ~ 30	5	3.0%
31 ~ 40	3	1.8%
合計	168	100%

面接参加数	回答者数	割合 (%)
1 ~ 5	95	56.5%
6 ~ 10	59	35.1%
11 ~ 20	14	8.3%
合計	168	100%

内々定数	回答者数	割合 (%)
1	77	45.8%
2	44	26.2%
3	24	14.3%
4	11	6.5%
5	4	2.4%
6以上	8	4.8%
合計	168	100%

<参考：全国平均>

27.38

12.83

13.46

8.19

2.36

- ・ 内定先を決めた時期は5月～6月が多く、次は8月。
- ・ 3月の広報活動開始の時期より前に就職活動を終えた学生もいた

内定先（就職先）に決めた「時期」（就職活動終了時期）	回答者数	割合（％）
3月より以前	9	5.4%
3月	7	4.2%
4月	20	11.9%
5月	31	18.5%
6月	37	22.0%
7月	13	7.7%
8月	24	14.3%
9月	6	3.6%
10月	14	8.3%
11月以降	7	4.2%
合計	168	100.0%

## 2-7 内定承諾の理由（自由記述）

**理由として多かったものは、第一志望の企業であったから、雰囲気良かったから、地元での就職を希望していたからなど**

### 内定承諾をした理由（自由記述の一部抜粋）

第一志望に落ちたから
実家から通えるため福利厚生が充実しているため
もともと東京特別区が第一志望だったが、一生暮らすことや親の介護などを考え仙台にした。
推薦を出したから
地元の千葉県に大学の習ってる知識を活かしながら貢献したいと思ったから
自分が働いている想像が1番できたから。
12月から第一志望だったから
技術力、年収、勤務地
会社雰囲気と入社後に成長できるかどうか
先輩社員の方のお話を聞いて自分のやりたいことをできると感じたから。同じ大学の先輩が沢山働かされていたから。
自分のやりたいことが出来る会社だから
自分の志望とマッチしたこと、市場占有率、先端技術への期待感、学校推薦応募
地元の企業であり、大学経由でのインターンシップでもお世話になった企業であること。そして自分の大学での専攻と近い部分があったため。
先輩、後輩、上司という関係性のバランスが取れていたから。
最終的に内定した時、どのようなことに期待して採用するのかや、仕事における私の活躍できそうな部分というものを面接の中で教えてくださったことが印象的だった。大手企業にはない、「あなたのこんな部分が良いから是非入社して欲しい」といった期待を感じられたのも決め手だった。
面接を受ける過程で、自分の一番働きたい場所であると再確認できたから。また、その日の内にすぐ内定を出してもらえたから、自分が必要とされていると思えた。
地元企業であり、1番早く内定を貰ったため。
資格取得のための実務経験になり、福利厚生なども充実していたから
職場の雰囲気が良く、業種についても相談してくれるとのことだったから
希望の勤務地に採用されたから
本社が地元であり、転勤があるにしても同県内で生活がしやすそうだったから
インターンシップでの対応が良かったため
本社が地元であり、転勤があるにしても同県内で生活がしやすそうだったから
自分が興味のある分野の仕事が事業としてあり、かつ若いうちから望めば多くのことを経験させてもらえるところに非常に魅力を感じた。また、説明会や面接を通じて会社の方々の人間性、仕事への熱意を感じたため。

## 2-8 内定辞退の理由（自由記述）

**理由として多かったものは、第一志望でなかったから、勤務地や全国転勤、給与・福利厚生などの条件面で会わなかったなど**

内定辞退の理由（自由記述の一部抜粋）
給料面に差があったから
勤務地の希望が通らない可能性があったため福利厚生の条件などを考慮して
何かあったときにすぐ実家に駆けつけられるようにするため
人事の方がいい人すぎて、現場社員とのギャプを感じてしまった
仕事内容が、自分のやりたかったことと少し違っていたから。
特別ルートで選考を受けていたが、内定をもらうまでキープされているように感じた。もともと第三志望であったため、その間に志望度が下がっていった。
内定先比較をした際により向いている方を選んだ
一番行きたかったところから内定をもらったため
勤務先に僻地が多かったから。
民間より公務員の方がやりたい仕事だったから
転勤が定期的にあるから
最終面接で圧迫面接、福利厚生が十分とは言えなかったため。
仕事内容や将来のビジョンなど。
女性比率の低さ、女性の産休育休からの復職率
ゴルフやお酒など接待に関する質問が多くされたため、志望度が下がった。
上昇志向や競争関係が希薄で、調和を最も重視しているようだったので、内定者の同期たちと雰囲気合わなかった。
将来性に不安が残る
第一志望の企業から内定をいただいたため。
企業規模が小さい、研修期間に現場作業がある、給与、会社の将来性
全国転勤、暮らしにくそうな土地（自分にとって）
本社の所在地、福利厚生、社内の様子など

## 2-9 学生が内定先を決める際の「決め手」

## ①仕事

やりたい仕事ができる  
専門性が活かせる



## ②ワークキャリア

キャリア・ビジョン  
が描ける  
キャリア・モデル  
がいる



## ③職場環境

労働環境

会社・職場の雰囲気良さ



## ④賃金・福利厚生

年間休日、研修制度  
給与・ボーナス  
賃金カーブ  
(5～10年後)



### 3. 大学の就職支援に対する評価（全体）

**就職支援満足度は、大変満足、満足をあわせると  
67.9%**

就職支援満足度	回答数	割合
大変満足している	25	14.9%
満足している	89	53.0%
どちらともいえない	35	20.8%
あまり満足していない	16	9.5%
全然満足していない	3	1.8%
合計	168	100.0%

## 大変満足、満足をあわせると65.5%

就職支援満足度	回答数	割合
大変満足している	12	13.3%
満足している	47	52.2%
どちらともいえない	21	23.3%
あまり満足していない	9	10.0%
全然満足していない	1	1.1%
合計	90	100.0%

- 満足内容（一部抜粋）
  - ・セミナーが役に立った。
  - ・キャリア相談では親身になって話をきいてもらえ、自分が本当に興味のあることを一緒に探してもらえたことがとてもよかった。
  - ・3月にビッグウィングで実施された学内合説のおかげで、公務員試験と両立できる企業と出会え、大変ありがたく思った。
- 改善要望（一部抜粋）
  - ・説明会の時期を早めてほしい。
  - ・メールなどでのさらに詳しい情報発信。
  - ・山形と東北の企業が多すぎる。
  - ・セミナーでは抽象的なことしか教えて貰えず、どう書いたら良いのかわかるようになるま時間がかかった。
  - ・大企業やベンチャーを目指す学生は、自力で情報を必死に取りに動かないと学内のサポートだけでは厳しいと思った。

## 大変満足、満足をあわせると75.0%

就職支援満足度	回答数	割合
大変満足している	10	16.7%
満足している	35	58.3%
どちらともいえない	9	15.0%
あまり満足していない	5	8.3%
全然満足していない	1	1.7%
合計	60	100.0%

- 満足内容（一部抜粋）
  - ・合同企業説明会はかなり参考になる。
  - ・キャリアサポの就職支援の専門家みたいな人と面接の相談するのが凄い役にたった。
- 改善要望（一部抜粋）
  - ・ネットなどで調べればわかる程度の添削しかしてくれないので、なんとかしてほしい。
  - ・学内の合同企業説明会の時間をもっと増やしてほしい。
  - ・大学の教授は基本的に大学院への進学を勧めるので、大学内で学部生の就職について相談できる場所が欲しかった。
  - ・化学メーカーに特化したデータベース等ほしい。
  - ・OB訪問が大学主催というより研究室に依存しているイメージであった。



## 4. 調査のまとめ

---

### 1. 対象者全体の内定状況のまとめ

- ・ 民間企業の内定者は73.8%、公務員は19.6%
- ・ 34.5%が山形県内の就職を検討
- ・ 山形県内の内定者は15.5%
- ・ 南3県（宮城、山形、福島）の内定者は35.2%

### 2. 就職活動の状況のまとめ（1）

- ・ 学内で開催される合同説明会と個別説明会が、参考になった情報源
- ・ 困りごととは、就職活動の費用に関する回答が多く、就職活動費用の平均は約20万
- ・ 相談した人は、同級生や先輩、母親など身近な人が多い

## 4. 調査のまとめ

---

### 2. 就職活動の状況のまとめ（2）

- ・ 就職活動中の活動量は、全国平均と大きく変わらない
- ・ 就職活動終了時期は5月～6月が多く、次は8月。
- ・ 3月の広報活動開始の時期より前に就職活動を終えた学生もいた
- ・ 内定承諾の理由として多かったものは、第一志望の企業であったから、雰囲気良かったから、地元での就職を希望していたからなど
- ・ 内定辞退の理由として多かったものは、第一志望でなかったから、勤務地や全国転勤、給与・福利厚生などの条件面で会わなかったなど

## 4. 調査のまとめ

---

### 3. 大学の就職支援に対する評価

- ・ 就職支援満足度は、大変満足、満足をあわせると67.9%
- ・ 各キャンパスごとに分類すると、
  - ① 小白川キャンパスが、大変満足、満足をあわせると65.5%
  - ① 米沢キャンパスが、大変満足、満足をあわせると75.0%
  - ① 鶴岡キャンパスが、大変満足、満足をあわせると55.6%
- ・ 改善要望としては、早期から活動する学生に対する支援や個別の手厚い支援を希望していた